

みんなで考えよう！身近な環境問題

～6月25日(日) 福祉文化会館～

# 「第10回はやま環境フェスタ」

毎年、六月は「環境月間」、六月五日は「環境の日」です。町民みんなで環境問題を考えようと、恒例の「はやま環境フェスタ」を二五日(日)に開催します。

十回目を迎える今回は、会場をこれまでの役場周辺から福祉文化会館へ移し、規模もより大きくなりました。

環境パネル展示や連続環境講演会など各種の催しも行います。

## 【歩み】

はやま環境フェスタは、葉山のごみ問題を契機に、資源循環型の社会づくりをめざす『町民と行政の協働』による環境イベントとして、平成十三年春に始まりました。

以来、年二回の恒例行事(六月・十二月頃)として定着し、展示やワークショップなどさまざまな催しを通して、身近な環境問題を考える大切な場になっています。

当初は循環型社会づくりの第一歩として、不要品の再利用などを目的としたフリーマーケットが中心でしたが、身近な環境問題にもっと目を向けてもらおうと、内容を拡充しました。

環境問題の学習会や写真展、体験できるワークショップ、葉山の環境調査、有機栽培野菜などを使った環境と健康にやさしい食品を販売するオーガニック屋台など、年々規模も大きくなっています。

これに伴い、はやま環境フェスタ実

行委員会に参加する環境団体なども増えています。

## 【第10回はやま環境フェスタ】

(十時～十四時、雨天決行)

十回目を迎える今回は、雨天でも実施できるように、会場をこれまでの町役場周辺からロビーや会議室など屋内



アクセサリづくり

が利用できる福祉文化会館に変更しました。(一部は除外)

また、催し物も例年と同様、多彩です。フリーマーケットは全部で五二ブースを用意しています。多くの皆さんが来店できるように、広いスペースを設けました。

親子で参加できるワークショップでは、石けんづくりや牛乳カートの紙すきのほか、貝殻を素材にしたアクセサリづくり、ペットボトルを使った楽器づくりと演奏など、楽しい催しがいっぱいです。

オーガニック屋台では、自家製天然酵母パンやナチュラルスイーツ、けんちん汁、おにぎりなど環境と健康に配慮した屋台が福祉文化会館前のロータリーに並びます。

太陽光発電や風力発電など環境にやさしい「自然エネルギー」を体験できるコーナーも設置します。

このコーナーでは、ソーラーカーの「NEO号」を展示します。子どもの体験乗車もできます。また、ソーラー

熱でご飯を炊く実験も行う予定です。福祉文化会館大ホールでは、地球温暖化などをテーマにした小・中学生向けの環境映画の連続上映会も行います。このほかにも、古本の無料交換市や廃食油の回収、生ごみを堆肥にするコンポスト機器の展示、壊れたおもちゃを無料で修理してくれる「おもちゃドクター」など、多くの催しが行われます。役場前の花の木公園では、下水道の汚泥でつくった堆肥の無料配布も行われます。希望者はビニール袋を持参し、配布場所にお越しください。

「環境月間」中の六月は、はやま環境フェスタの一環として、ほかにも次のような各種催しが行われます。



「NEO号」の展示

『環境パネル展』

日時 六月一日(木)～七日(水)  
(平日のみ、八時半～十七時)

場所 役場一階ロビー  
内容 町内外の環境団体の活動をパネルで紹介します。我が家の環境大臣「環境家計簿」の登録もあります。

『身近な水環境の全国一斉調査会』

日時 六月三日(土)(九時～十五時)  
場所 森戸川・下山川流域  
内容 COD(化学的酸素要求量)な

ど水環境の調査。参加希望の人は、実行委員会までご連絡ください。  
☎八四五―八四〇〇

『連続環境講演会』

『葉山の自然環境～森戸川流域生態系の再生を目指して～』  
日時 六月四日(日)(十四時～十六時)  
場所 役場四階・大会議室

講師 佐藤勘才さん、塩原沙代さん  
場所 福祉工業大学環境情報学部環境情報学科ランドスケープエコシステムズ(田中章研究室)

『ビーチコミングから環境を知る』

日時 六月十八日(日)(十時～十二時)  
場所 役場四階・大会議室  
講師 池田等さん

『葉山・三浦の自然～今昔から将来～』

日時 六月二十五日(日)  
(十四時半～十六時半)  
場所 福祉文化会館・大ホール  
講師 柴田敏隆さん  
問合せ 環境課 ☎内線二二三三

